



アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）

2013年1月23日

「TOMODACHI アフラック プログラム」を開始

～ 小児がん研究に携わる医師の米国留学助成制度として ～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池 徹）は今般、米国政府および米国の非営利公益法人米日カウンシル（以下、米日カウンシル）が主導する日米交流事業「TOMODACHI イニシアチブ」（<http://usjapantomodachi.org>）に参画します。

具体的には2013年6月から、小児がんの研究に携わる日本在住の医師をAflac米国本社が支援する「アフラックがん・血液病センター」（米国ジョージア州アトランタ）に派遣し、当地での研究成果をその後の日本での治療・研究に役立ててもらふことを目的とする米国留学助成制度「TOMODACHI アフラック プログラム」を発足します。本プログラムの概要は、以下のとおりです。

◆<TOMODACHI アフラック プログラム>概要

【TOMODACHI イニシアチブとは？】

米国政府・米日カウンシルの主導のもと、東日本大震災後の復興を支援するとともに、長年にわたり日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し、友好を深めるかたちで投資を行う官民によるパートナーシップ。

夢を持ち、その実現に向け計画を立て実行する日米の将来の世代、すなわち互いの文化や国を理解し、成功と社会への貢献に必要な世界中で通用する技能と国際的な視点を備え、日米関係の将来に深く関わる「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

【TOMODACHI アフラック プログラム】

目的	米国における最先端の小児がん研究の経験を通じ、日本での治療・研究に役立てる
対象者	小児がんの基礎、診断、治療等の研究に携わる日本在住の医師（40歳未満）
概要	「アフラックがん・血液病センター」（米国ジョージア州アトランタ）に、日本在住の医師を1～2名、原則6カ月間派遣し、留学費用200万円を支給する（宿舎などに関する費用は別途支給）
応募締切	2013年2月28日（木）まで
派遣期間	2013年6～11月予定（原則6カ月） ※その後の派遣については検討中

※ 派遣医師の選考については、「日本小児血液・がん学会」の協力のもと、「TOMODACHI アフラック プログラム」選考委員会（委員長：小児血液・がん学会理事長 石井榮一氏）で行います。

選考に関するお問い合わせ

【事務局】認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-2-12 イルドルカン302号 TEL：03-3952-2640

当社は米国に本社を置く企業として、日米両国に資するCSR活動に積極的に取り組んでいきます。